

第 50 回国際化学オリンピック スロバキア・チェコ大会 第 3 回特別強化訓練合宿開催について

この度、公益社団法人日本化学会 オリンピック小委員会は長崎大学工学部と共催で、第 50 回国際化学オリンピック スロバキア・チェコ大会の日本代表生徒団の特別強化訓練(第 3 回)を 5 月 26 日(土)、27 日(日)に長崎大学にて行うこととなりました。折角の機会ですので、見学等御希望される場合には、下記連絡先まで、メールにてご連絡ください。

連絡先

担当者：日本化学会 大倉寛之

電 話：03-3292-6164 E-mail：ohkura@chemistry.or.jp

または

東京農工大学 工学系 有機材料化学 米澤 宣行

電 話：042-388-7053 E-mail：yonezawa@cc.tuat.ac.jp

<国際化学オリンピックの概要>

国際化学オリンピックは約半世紀の歴史を持つ高校生の化学力コンクールで参加する生徒は化学分野の筆記試験と実験課題に挑みます。参加者の上位 10%に金メダル、次の 20%に銀メダル、その次の 30%に銅メダルが贈られます。

<国際化学オリンピックの特色>

国際化学オリンピックは東欧の 3 カ国の化学学力コンクールでしたが、近年は約 80 カ国が参加する国際大会に発展し、毎年夏休みの前半に 10 日間の日程で開催されます。わが国では 2003 年から「夢・化学-21」委員会と日本化学会が生徒派遣を始めて、2004 年以降参加生徒全員が金、銀、銅いずれかのメダルを受けています。国際化学オリンピックは、次世代の世界を担う各国の若い生徒が化学力コンクールでしのぎを削りながら、しっかりとお互いの理解する高度な国際交流の場でもあります。したがって、国際化学オリンピックに出場する生徒が、慣れない環境下でしっかりと他国の生徒とお互いを理解しあうためには、十分な化学力を備えて、余裕を持ってコンクールに臨む必要があります。

<国際化学オリンピックへの生徒派遣への教育・訓練の特徴>

国際化学オリンピックは高校生(卒業直後の卒業生も含む)のコンクールですが、その試験問題や実験課題は我が国の高校生の日頃の学習内容よりもかなり高度で、大学生の内容と言ってよいものです。日本化学会の化学オリンピック小委員会および、化学オリンピック OBOG 会が、昨年 9 月の日本代表候補生徒認定から、いろいろな教育と選抜を重ねて代表生徒・派遣生徒の決定・特別訓練に至っております。この過程は本当に多くの化学関係者の皆様のご協力に支えられたもので、この派遣事業の遂行はまさに我が国の化学界あげての支援の賜物です。特に代表生徒の訓練では、胆力、柔軟で的確な思考力、臨機応変性など逞

しい化学力の養成が不可欠で、それを生徒が獲得するには、生徒にとってアウェイかつグローバルな力を有する大学や研究機関等の場で、短時間に集中した訓練は重要です。それを踏まえ、国際化学オリンピック代表生徒の教育訓練は、毎年 3~4 箇所の日本を代表する教育研究機関のお世話になっております。

[第 50 回国際化学オリンピック スロバキア・チェコ大会 第 3 回特別強化訓練合宿の概要]

<開催日時>

2018 年 5 月 26 日(土)13 時頃から 5 月 27 日(日)16 時頃まで

<場所>

長崎大学工学部 サイエンステクノラボ棟 化学実験室 他

<参加者>

第 50 回国際化学オリンピック代表生徒団 4 名

石井 敬直 (イシイ タカナオ) 筑波大学附属駒場高等学校 3 年

西口 大智 (ニシグチ タイチ) 甲陽学院高等学校 3 年

福本 優斗 (フクモト ユウト) 大阪星光学院高等学校 3 年

増永 裕太 (マスナガ ユウタ) 聖光学院高等学校 3 年

<日本代表生徒のスケジュール>

【国際化学オリンピックまでのスケジュール (今後の予定を含む)】

2017 年 9 月 30 日 第 50 回国際化学オリンピック代表候補認定式

2017 年 10 月 22 日 第 1 回集合教育

2017 年 11 月 19 日 第 2 回集合教育

2018 年 1 月 5 日 一次選抜試験 (21 名→11 名)

2018 年 2 月 25 日 第 3 回集合教育

2018 年 3 月 10~11 日 二次選抜合宿 (11 名→4 名)

2018 年 3 月 27~28 日 第 1 回強化訓練合宿 (於: 埼玉大学)

2018 年 4 月 28~30 日 第 2 回強化訓練合宿 (於: 東京工科大学)

2018 年 5 月 26~27 日 第 3 回強化訓練合宿 (於: 長崎大学)

2018 年 6 月 16~17 日 第 4 回強化訓練合宿 (於: 京都大学)

2018 年 7 月 18 日 (調整中) 代表壮行会

2018 年 7 月 19~29 日 『第 50 回国際化学オリンピック スロバキア・チェコ大会』

本件に関する問い合わせ先は
長崎大学工学部化学・物質工学コース
馬越啓介 TEL:095-819-2672
日本化学会企画部
大倉寛之 TEL: 03-3292-6164

【参考資料】

・国際化学オリンピック(IChO=International Chemistry Olympiad)とは

1968年に東欧3カ国(ハンガリー、1日チェコスロバキア、ポーランド)が始めた高校生の化学の学力試験から発展した、毎年7月に約10日間開催される「化学力」の国際大会です。各国、代表生徒を最大4名まで参加させることができ、近年では約80の国と地域から、総勢300名近い生徒が参加しています。生徒たちは、個人単位でそれぞれ5時間に及ぶ実験課題(Experimental Task)と筆記問題(Theoretical Examination)に挑戦し、成績優秀者には金メダル(参加者の1割)、銀メダル(同2割)、銅メダル(同3割)が贈られます。また、大会期間中には、課題や試験だけでなくエクスカージョンと呼ばれるプログラムが用意されており、その内容はスポーツやゲームから開催国独自の文化を体験するものまで多岐にわたっています。参加生徒たちはこれらのエクスカージョンを通じて他国の生徒との交流を深めていきます。日本は2003年のアテネ大会より参加しており、今年で16回目の参加となります。(国際化学オリンピックの詳細については<http://icho.csj.jp/>をご参照ください。)

<これまでの開催地>

開催年回数開催国/開催都市

2003年	第35回	ギリシャ/アテネ
2004年	第36回	ドイツ/キール
2005年	第37回	台湾/台北
2006年	第38回	韓国/慶山
2007年	第39回	ロシア/モスクワ
2008年	第40回	ハンガリー/ブダペスト
2009年	第41回	イギリス/ケンブリッジ
2010年	第42回	日本/東京
2011年	第43回	トルコ/アンカラ
2012年	第44回	アメリカ/ワシントンD.C
2013年	第45回	ロシア/モスクワ
2014年	第46回	ベトナム/ハノイ
2015年	第47回	アゼルバイジャン/パクー
2016年	第48回	ジョージア/トビリシ
2017年	第49回	タイ/ナコンパトム

長崎大学工学部・工学研究科校舎案内図

